

1 計画の目的

(1) 計画の目的

ちがさき都市マスタープランにおいて、活力と賑わいを創出する地区拠点として位置づけられている辻堂駅西口周辺地区について、隣接する藤沢市の大規模工場跡地整備計画との連携を図りながら、広域的な視点に立った拠点到ふさわしい将来のまちづくりを推進するため、その方向性を定めた基本計画を策定する。

(2) 計画の位置づけ

本計画の策定にあたり、次の点について考慮する。

- ・茅ヶ崎市の既存計画においては、辻堂駅北側に立地する関東特殊製鋼（以下「カントク」という。）工場が永続的に操業を続けている前提でまちづくりを考えられているため、本計画では、工場移転後のカントク跡地整備の影響を踏まえた新たな検討を行い、必要に応じ既存計画の見直しを行う。
- ・藤沢市により進められているカントク跡地の整備を核とした辻堂駅周辺地区整備事業と整合を図りながら、広域的及び中長期的な視点に立った検討を行う。
- ・本地区の市民、商業者等により構成する辻堂駅西口周辺地区まちづくり市民会議の提案及び学識経験者、関係団体等から構成する辻堂駅西口周辺地区まちづくり基本計画策定委員会の検討内容を踏まえた計画とする。

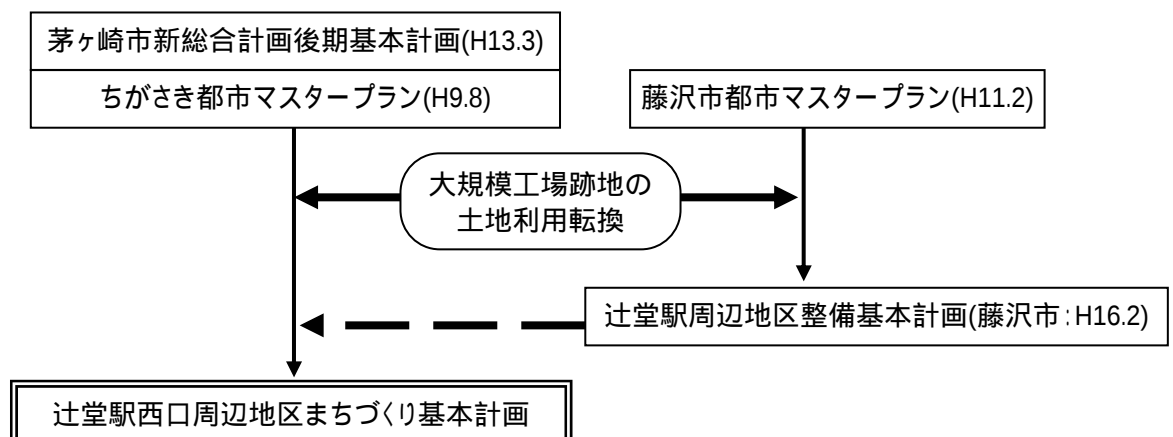


図 1.1 計画の位置づけ

表 1.1 関連計画における辻堂駅周辺地区の位置づけ

計画名	計画の概要	辻堂駅周辺の位置づけ
茅ヶ崎市新総合計画後期基本計画	将来の都市像「自然と人がふれあう 心豊かな快適都市 茅ヶ崎」 施策の体系(基本目標) ・いたわりと生きがいのある健康で安全なまち ・自然と都市機能が調和したうるおいのあるまち ・豊かな文化と明日のたくましい世代を育むまち ・賑わいと活力を創出する産業を育てるまち	活力と賑わいを創出する地区拠点として、まちづくり基本計画を策定し、段階的整備を進める。 ・小和田中赤線及び新国道線の整備 ・辻堂駅周辺部への自転車駐車場の整備等
ちがさき都市マスタープラン	将来都市像「湘南の快適環境都市」 目指すべき基本的な方向 ・自然環境と共生する潤いとやすらぎのまち ・高齢社会の到来に対応するゆとりのまち ・都市災害に強い安全・安心のまち ・住機能をケアする遊機能を備えたまち ・人と文化が交流する交通利便性の高いまち	市民の就業や学習、交流や娯楽などの活動を支える複合的都市機能を持つ市街地を創出するための地区拠点。
藤沢市都市マスタープラン	将来像「自立するネットワーク都市」 ・13 地区別まちづくり ・活力を生み出す都市づくり ・環境と共生する都市づくり ・安心・安全のまちづくり ・広域的に連携するネットワークづくり	藤沢市西部及び北西部地域へのゲートとしての交通ターミナル機能の充実を進めるとともに、情報ビジネス機能、対事業所サービス機能集積を促進する。
辻堂駅周辺地区整備基本計画	都市再生ビジョン ・まちの活動が育てる地域の先導的な産業拠点 ・多様な都市活動が広域的に連携する拠点 ・辻堂ならではのライフスタイルを展開・発信する拠点	

(3) 計画の目標年次

本計画の目標年次は、30 年後とする。ただし、カントク跡地及び辻堂駅に隣接する重点的な整備が必要と考えられる地区については、10 年後を目標に計画的な整備を図る。